

大 カテゴリー	中カテゴリー	小カテゴリー	記述内容
スタッフ・管理者の負担を軽減する体制づくり【60】	スタッフの負担を軽減できる体制づくり【40】	一人で負担を抱えない体制づくり【16】	肉体的にも精神的にも重労働で責任を伴っている。健康管理には十分注意し、重傷者になればなるほど常に誰かに相談でき問題を一人で抱え込まないように配慮する。
		ゆとりのある人員体制【10】	看護師の人材確保によりゆとりのあるケアが提供できるように時間等に余裕が持てる。
		24時間緊急対応の負担を軽減する【6】	24時間体制、オンコールは夜勤以上に緊張と翌日の勤務がありストレスがたまる。
		オーバーワークにならないスケジュール管理【5】	「訪問看護の仕事が好き」という人は多いのですが、あまりに責任が重く仕事も多くオーバーワークの状態。
		チームナーシングによる訪問看護の実現【2】	希望休がとれるように完全受持ち制とせずにチームで動く（同行訪問等をしている）
	管理者が生き生きと働ける職場づくり【13】	夜間の二人訪問体制【1】	24時間365稼働するための体制づくり（夜間の二人体制、緊急時の対応）
		管理者の負担軽減【7】	管理者が訪問看護を業務せざるを得ないと時間外に管理業務となり残業代も出ず労働荷重となってしまふ。
		管理者の情熱【4】	スタッフの意見を尊重しつつも管理者の仕事への情熱が大切だと思ふ。
	訪問看護の周辺業務の業務改善【7】	管理者自身の資質の向上【2】	管理者の看護レベルの高さももちろんのこと人間性が問われると思う。自分のポリシーがなければ動まらず、スタッフの教育と人間の把握ができること。
		看護記録のIT化・簡素化【4】	記録のIT化等省けるところは省き利用者寄り添える時間を少しでも増やすことができるようにまずはしたい。負担を減らすこと。 書類の簡素化。日々の記録、計画書、報告書、担当者会議への出席など多忙すぎる
		周辺業務の整理、改善【3】	訪問のみではなく付随業務を行う時間が十分に確保されている。 現在、早朝から0時すぎまで働かないと訪問+事務的なことが終わらない状況。その改善がまず必要。
		コールセンター併設が必要【1】	コールセンター（地域に於ける）構想。
	ワークライフバランスが取れる職場体制づくり【61】	休暇が取れる体制づくり【37】	急な休みにも対応できる人員確保【21】
休暇が取れる【13】			休みが取れる。
リフレッシュ休暇の導入【3】			リフレッシュ休暇制度の導入、
子育て・介護支援【13】		子育てしながら働きやすい職場づくり【8】	子育てが出来る環境。保育園や学童保育ができる施設の併設がベストだが、近所の保育園には入れるよう優先制度があるとよい。冬休み、夏休みにも対応できるシフト組みと職場の雰囲気づくり。
		保育設備の検討【2】	保育設備があれば、長期産休中のパートが二人が戻ってこれる。
ワークライフバランスが取れる職場体制づくり【11】		親の介護について理解しあう職場風土づくり【3】	親の介護について理解と協力
		プライベートと仕事のバランスが保てる【6】	看護師一人ひとりの生活も充実しなければ、仕事に対しても充実したケアにならないと思う。
給与等の改善と経営管理に関する工夫【62】	給与・諸手当の改善【19】	多様な勤務形態の導入【5】	個々のスタッフにあったライフスタイルへ対応する勤務時間の配慮。
		給与・諸手当の改善【13】	満足できる給料。 定期的な昇給ができる経営。
		負担に見合う給与、諸手当の改善【3】	訪問だけではなく他の業務（集表類などの検討をする。マニュアルを作る。）が給料に評価されること。
		労働条件の改善【2】	労働条件の改善、
	安定した経営管理に向けた工夫と検討【4】	キャリアに依じた給与、諸手当の改善【1】	能力があり経験年数も長い看護師にはみあった給与が必要でありそれを保障できる収入。
		安定した経営管理に向けた工夫と検討【4】	大規模経営への切り替え 利用者変動に影響されない経営管理
安定した経営を可能にする診療報酬の改定【3】	安定した経営を可能にする診療報酬の改定【3】	小規模運営では常に不安定であり常に常勤換算50以上の中～大規模運営に切り替えていけたら安定すると思われる。 利用者の変動（ターミナルが多いと特に）入院・入所・死亡などがあると途端に収入に影響がでてしまうためにベースとなる補助金の制度があれば安定して不安なく働き続けられる。	
	安定した経営を可能にする診療報酬の改定【3】	看護師1人3件/1日の訪問でも利益のあげられる報酬にしてほしい。 安定した運営（黒字による）を支える診療報酬の改定。（現状では看護師不足で24時間体制がとれていないが常に遠征体制がとれるようにしたりターミナルケアを実施したりしているが診療報酬の請求ができない現状で矛盾を感じる	
地域、他機関との連携	地域医療機関や母体法人との連携の充実【4】	医療機関との連携を充実【3】	医師との顔が見えるおつきあい
		法人との連携【1】	スタッフの意見はなるべく法人へも伝えている
	その他【3】	職場だけでは無理【1】	職場だけでは無理。もっと周囲（行政等）が力を入れてほしい。
		女性が働くことへの理解が必要【1】	女性が働くことを理解することが必要。働きやすい環境
		看護基礎教育の充実【1】	まず教育の現場が看護の専門性の意識を持つ学生を育ててほしい。